

(10/5) 第26回特別シンポジウムのご案内

ギガビット研究会では、アンテナ・高速回路・EMC の設計評価に関して、電磁界理論に基づく理解を目標に、今後必要な情報の高速化、デバイスの小型化、システムの低消費電力化を考慮し、情報・エネルギー・EV・医療/健康機器対応等の、主に近距離電磁界に関する課題をテーマに、新しい知見・情報を得ることと同時に、新たな共同研究テーマ探索のための特別シンポジウムを随時開催しております。

今回は「ウェアラブル - ヘルスケア/介護・補助等での電子機器と EMC」をテーマに、王 建青 先生と杉本 千佳 先生のお二人に、人体通信の原理と人体装着型ロボットのワイヤレス制御への応用等と、ウェアラブル/非接触センサでの生体センシングの原理や特徴及び技術的課題、ならびに EMC についてご講演を頂き、技術動向と解決すべき課題を皆様と共有したいと存じます。 質疑応答の時間もたっぷりと考慮しておりますので、是非奮ってご参加下さい。

【10/5 (金) 開催】ギガビット研究会 第26回特別シンポジウム 「ウェアラブル - ヘルスケア/介護・補助等での電子機器と EMC」

日時 2018年10月5日(金) 13:25 ~ 17:30

場所 電気通信大学 創立80周年記念会館「リサーチ」3F

<http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> (学内マップ「4」の建物)

プログラム

13:25~13:30	開会挨拶
13:30~15:15 (質疑15分含む)	『人体通信を利用した人体装着型ロボットのワイヤレス制御及び EMC』 名古屋工業大学 大学院電気・機械工学専攻 教授 王 建青 先生 (本講演では、まず人体通信の原理、特徴及び通信機器設計の基本的考え方を解説し、次に人体通信の人体装着型ロボットのワイヤレス制御への応用例を紹介する。さらに、外部電磁界により生体センサに生ずるコモンモードノイズキャンセル技術や、静電気放電に対するイミュニティ評価技術などを紹介する。最後に人体通信のブレイン・マシン・インターフェース(BMI)としての信号伝達手段の可能性を展望する。)
15:15~15:30	休憩
15:30~17:15 (質疑15分含む)	『ウェアラブル/非接触生体センシングと EMC』 横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授 杉本 千佳 先生 (本講演では、ウェアラブル/非接触センサでの生体センシングの原理や特徴及び技術的課題を解説し、医療・ヘルスケアで用いられる医用電気機器の研究開発において、基本性能と基礎安全を確保するために求められる近年の EMC 対応について紹介する。)
17:15~17:30	全体討議 (全体通しての質疑、個別質問等)

参加費 法人会員・特別会員は無料、法人准会員は 28,600 円 (税込 30,888 円)

お申込み メールで、ギガビット研究会 gigabit@sangaku.uec.ac.jp までご連絡ください。
会員の種別によりお申し込み方法が異なりますのでご注意ください。

<法人会員>

1. 会社名
 2. 所属
 3. 氏名
 4. メールアドレス等ご連絡先
- 以上4点をご連絡ください。

<特別会員>

1. 氏名
- 以上1点をご連絡ください。

<法人准会員>

1. 会社名
 2. 所属
 3. 氏名
 4. メールアドレス等ご連絡先
- 以上4点をご連絡後、お手数ですが添付の申込書に必要事項を記入・捺印のうえ
研究会事務局宛にご郵送ください。

お問い合わせ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター ギガビット研究会事務局

TEL : 042-443-5848 e-mail : gigabit@sangaku.uec.ac.jp